

Feng-Shui Gallery

special edition vol.82

～風水デザインが空間にもたらす影響を、スペースごとに考える～

『空間ごとに考える色彩の働き』

～オフィス編（執務室・休憩室）～



<2>



<1>

【写真1】オレンジ色のアクセント壁が目をはきく執務スペース。観葉植物を多く設置することで、空間の気の流れが良くなり、視覚的にも心地よいイメージを与えてくれます。木目のデスク天板、黄色い張り地の椅子など、ナチュラルカラーを取り入れることで、優しい雰囲気的空間をつくり上げることができます。【写真2】パステルブルーの壁紙ですっきりとした印象の執務空間。ブルー系統の色彩は、脳を沈静化し集中力を高めてくれるので、細かい作業や計算などの業務に適しています。【写真3・5】オレンジなどのビビットな色彩は、柱や家具などアクセントとして小範囲に用いると良いでしょう。【写真4】床材・椅子・観葉植物など、緑系統で統一された執務スペース。用いる色彩の系統を合わせることで、その色彩の持つ働きをより強く受けることが可能です。【写真6】明るく開放的な休憩スペース。執務室と変化をつけることで、脳のスイッチのON・OFFを促し、メリハリをもって業務に取り組むことが可能となります。【写真7】カフェラウンジのような休憩スペース。簡単なミーティングやディスカッションも行える多目的な空間となっています。パステルグリーンと、床の木目の色彩が、落ち着きのあるリラックス空間を演出しています。



<3>



<5>



<4>



<7>



<6>

オフィスの執務室は、いかに快適に仕事ができるかを最大限に考慮した空間作りが大切です。適した「色彩」を選定することによって、やる気や集中力を高め働きやすい空間をつくり上げることができます。

快適な執務空間をつくり上げる為に、休憩室を併設することはとても重要です。適度な休憩や、ランチなど快適に食事が摂れるスペースがあることで活力や集中力を高めることができます。